

## 平成28年度 各会計 決算審査のあらまし



9月22日の本会議において、決算特別委員会を設置し、平成28年度各会計決算の審査を付託しました。  
引き続き委員会を開会し、委員長、副委員長および理事を選出しました。

▽委員 議長および議員 選出監査委員を除く全議員  
▽委員長 鈴木真澄  
▽副委員長 つる伸一郎 石田ちひろ  
▽理事 松永よしひろ 須貝行宏 田中さやか

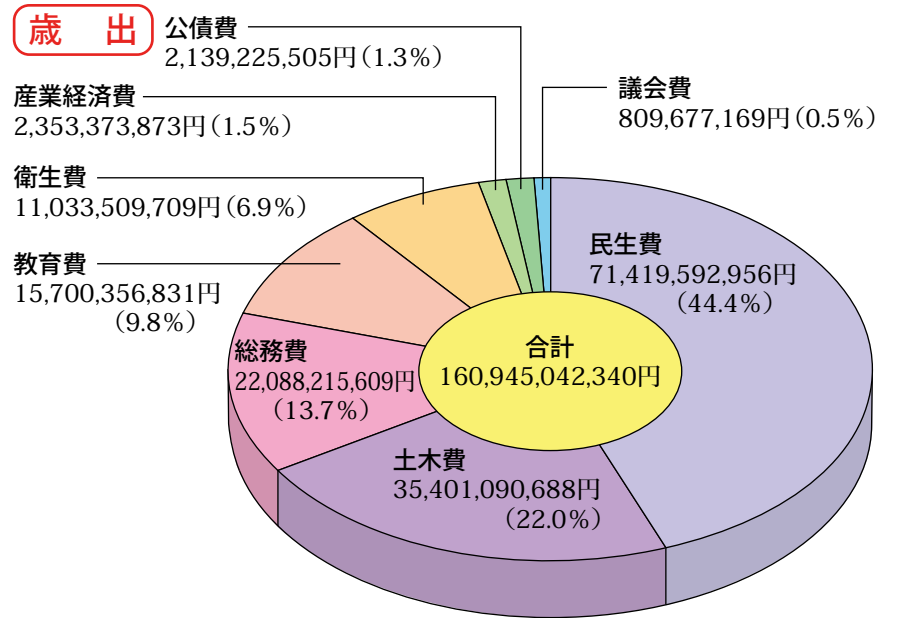
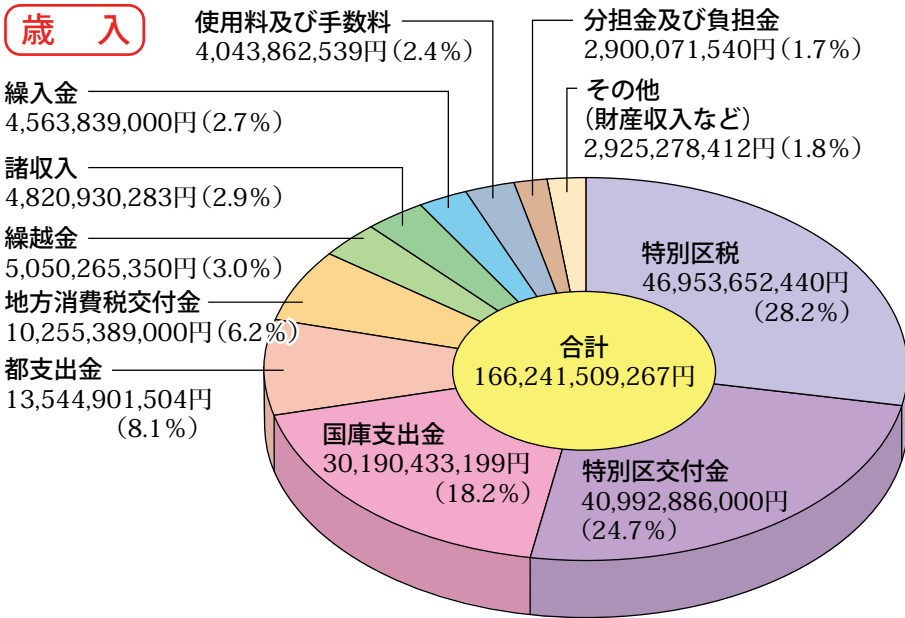
委員会での審査は10月2日から10月16日までの計7日間行われました。慎重審査ののち、最終日10月16日には、各会派より意見表明が行われ、採決の結果、一般会計・国民健康保険事業会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計はいずれも賛成多数で認定すべきものと決定し、10月19日の本会議で認定しました。

**決算特別委員会  
を設置**

## 平成28年度 決算の概要

会計	歳入決算額	歳出決算額	翌年度へ繰越
一般会計	1,662億 4,150万 9,267円	1,609億 4,504万 2,340円	52億 9,646万 6,927円
国民健康保険事業会計	437億 2,678万 3,386円	423億 3,386万 9,273円	13億 9,291万 4,113円
後期高齢者医療特別会計	77億 4,494万 1,918円	76億 8,670万 1,991円	5,823万 9,927円
介護保険特別会計	231億 1,661万 423円	229億 1,886万 4,846円	1億 9,774万 5,577円

## 一般会計歳入歳出決算内訳



**決算  
特別委員会  
総括質疑**

決算特別委員会の7日目に、各会派を代表して9人の委員が、各会計歳入歳出決算の全般にわたる総括質疑を行いました。以下、概要をお知らせします。

- 横山 由香理 委員(自・未)**
  - 1 データヘルスの取り組み(現状課題、今後の展開等)について
  - 2 公衆浴場(浴場数、地域における役割、今後の支援等)について
  - 3 教育施策(保護者が期待する学校教育、薬品の管理体制)について
  - 4 児童相談所(設置に向けた計画、移管に向けた支援状況)について
- 石田 秀男 委員(自・未)**
  - 1 品川駅南地域(JR田町駅・品川駅間の新駅開発・京浜急行連続一体化といった品川駅周辺の開発における南地域のまちづくり、区主導でのまちづくりを行政判断すべき等)について
  - 2 観光施策(水辺、舟運、屋外広告物)について
- 新妻 さえ子 委員(公明)**
  - 1 高齢者の住宅支援について
  - 2 終活支援について
  - 3 区役所等における各種窓口手続(ワンストップサービス)について
  - 4 東京2020オリンピック・パラリンピックについて
  - 5 八潮のまちづくり(多世代交流子ども食堂開設)について
- 浅野 ひろゆき 委員(公明)**
  - 1 災害対策(感震ブレーカー設置助成、街かど消火栓、防災士資格取得助成、避難所の簡易間仕切り等)について
  - 2 障がいのある方の活躍の場(精神障がい者の就労支援の取り組み、ピアサポーターの活用、家族のレスパイトケア等)について
- 石田 ちひろ 委員(共産)**
  - 1 羽田空港の機能強化(重大インシデントの定義と件数、国土交通省の対策強化、区の対応、教室型説
  - 2 羽田空港の機能強化(落下物の挙
- 吉田 ゆみこ 委員(ネット)**
  - 1 障がい者福祉(発達障がいや高次脳機能障がいなどの新しい障がいの団体等への情報提供や意見聴取施設での虐待への対応、重度障がいの方の家族支援・レスパイト事業等)について
  - 2 羽田空港の機能強化(落下物の挙
- 鈴木 ひろ子 委員(共産)**
  - 1 国民健康保険(国保の構造的な問題、都道府県化の影響、高額療養費分のひとり当たりの値上げ額、保険料徴収、保険者支援金、法定外繰入金を廃止した場合の影響、滞納整理による差し押さえ、滞納処分と子どもの短期証の郵送等)について
- いながわ 貴之 委員(民・無)**
  - 1 防災まちづくりの更なる推進(不燃化特区における除却助成、建築物耐震化の成果、未接道宅地等解消にかかる費用助成、最低敷地面積設定により分割処分できない土地の問題、旧同潤会地区防災街区整備事業における歴史的価値の継承等)について
- 須貝 行宏 委員(無品)**
  - 1 品川区長期基本計画(進化変貌を遂げる品川区の現状と在り方、品川区の魅力)について
  - 2 教育(教職員の人事権の都からの委譲、品川区独自の教育を担ったために育成した教員、小・中学校の両方の免許を持った教員等)について